

令和3年第2回定例会一般質問通告事項

6 月 16 日	<p>岡村 隆 議員（公明党・木曜会） 質問方式：一問一答方式</p>
	<p>1 新型コロナウイルスワクチン接種について</p> <p>(1) 予約に関して</p> <p>ア 電話が繋がらないという声は多く聞かれている。回線数を含め、どのような体制で対応されているか。市民の皆さんの声をどのように認識し、今後どのような改善策を検討されているか</p> <p>イ 予約ダイヤルは20秒毎に10円の通信料がかかる。特に高齢者の方は通話時間が長くなる可能性があるが、この通話料金は改善できないか。何か対応は考えているか</p> <p>ウ 一方オンライン予約について、高齢者の方を中心に、なかなか操作が難しい方もおられます。サポート体制はどのようになっているか</p> <p>(2) 移動に関して</p> <p>ア 自力で接種会場に赴くことが困難な接種希望者のため、移動のためのタクシーの活用など、支援策は検討しているか</p> <p>イ 自宅で寝たきりの高齢者など移動が難しい方に対しての訪問接種についての検討状況はいかがか</p> <p>(3) 具体的な接種にあたって</p> <p>ア 介護施設、障害者（児）施設の利用者などマスクをつけることが困難であったり、密になる場面が多い状況にある方々、又それに携わる職員、訪問看護職員などについては優先接種が必要であると考えがいかがか</p> <p>イ 視覚・聴覚障害、発語障害、精神疾患などのある接種希望者に対する事前の情報提供、接種会場における手話通訳や筆談ボードなどの合理的配慮はどのようになっているか</p> <p>ウ 車いす利用の接種希望者が会場で移動の不自由が生じないよう、どのような配慮をされているか</p> <p>エ 大規模接種会場の設置については検討されているか</p> <p>オ 看護学校の学生さんが、接種会場において接種者の疑問に答えるなどサポート役として活躍している自治体もある。本市においてはいかがか</p> <p>(4) 国の事業の活用について</p> <p>時間外、休日に医療機関から集団接種会場に医師・看護師等を派遣したときに、派遣元の医療機関に対し、「新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金」の医療従事者派遣事業により財政支援が受けられることになった。現在の状況と活用見込みはいかがか</p>

6 月	<p>2 高齢者が利用しやすい公共施設の整備について</p> <p>(1) 高齢者の皆さまが、住みなれた地域で元気に、いきいきと安心して人生を謳歌していただくためには、地域の拠点となっている「いきいきサロン」の早急なるバリアフリー化は、今回の事業計画に照らし不可欠であると考えがいかがか</p> <p>(2) 手すりとスロープが両方設置されて初めてバリアフリーと言えるが、市内のいきいきサロンの数及びその内、手すりとスロープの両方が整備されている所は何か所あるか</p> <p>(3) その他は手すり、スロープのうちどちらかだけ整備、あるいは両方とも整備されていない、ということになるが、それらの内、避難所になっている所は何か所あるか</p> <p>(4) 手すり、スロープが整備されていない所は、事業計画に照らして、今後の整備計画はどうなっているか。また、災害はいつ起こるか分からない。特に避難所になっている所は、すでに雨季に入っている現在、手すり、スロープの両方について、すべてに優先して緊急に整備すべきだと考えるがいかがか</p> <p>(5) いきいきサロンに限らず、市内の公共施設においてバリアフリー化されていないものが多く存在する。今後の整備計画を伺う</p>
16 日	<p>3 「小1の壁」問題について</p> <p>(1) 長期休業日等の放課後児童クラブの始業時間を7時30分からにしてほしいという要望の実現に向け支援員の確保、支援員の勤務の形態などにつき</p> <p>ア どのような努力をし</p> <p>イ 現状どのような状況であり</p> <p>ウ 今後の見通しはどうなっているか</p> <p>(2) 8時始業までの間の子どもたちの見守りについて同様に前記ア、イ、ウについて伺う</p>

<p>6 月 16 日</p>	<p>4 避難所等の備蓄・運営について</p> <p>(1) 停電が発生した際の対応として、現在の発電機、投光器の設置状況及び今後の整備計画を伺う</p> <p>(2) 断水も避難生活に大きな影響を及ぼす。特にトイレの問題は深刻である。排泄物を凝固剤で固める組み立てトイレや、マンホールのふたを外して簡易トイレを置き、テントで覆って使用するマンホールトイレはもちろん、最近では1つのトイレで、50人の1週間分の使用量を賄うことのできる、組み立て式紙トイレなど、備蓄に適した高機能のものを積極的に取り入れ、あらかじめ避難所に整備しておくことの効果は計り知れないと考えるが、この点本市における整備計画はどのようなになっているか</p> <p>(3) 在校時間帯に発災した場合、また地域の方がとるものもとりあえず学校に身を寄せて来られる場合なども想定し、学校にも緊急の食料など一定程度の備蓄品が必要だと考えるが如何か。現在の市立の小中高校の備蓄の状況、今後の整備計画を伺う</p> <p>(4) 本市でのペット受け入れ避難所は5か所ある</p> <p>ア 安全に避難できる一つの目安として、700メートル、徒歩15分と言われているが、現状この5か所のままでは、ペット同伴で徒歩での避難が到底困難な地域の方が多いと思うが如何か。今後配置していくか</p> <p>イ 以上5か所以外の、ペット受け入れ不可の避難所に飼い主とペットが避難に来られた場合、どのように対応されるか</p> <p>ウ 避難所で動物アレルギーをもった方と動物との住み分けや動線はどのようなになっているか</p> <p>エ 獣医師会や愛護団体との連携はどのように行っているか</p> <p>オ ペットの立場から災害を考え、平時から飼い主等に必要なアドバイスをを行う役割を担う「ペット災害危機管理士」は市内におられるか</p> <p>5 動物愛護の推進</p> <p>(1) 所有者のいない、犬猫の問題は後をたたない。 こういった状況も踏まえ、猫との触れ合いを求め多くの方々が訪れる尾道市として、民間の力だけに頼ることなく、市独自の支援策を検討してはどうか</p> <p>(2) 尾道市のふるさと納税の使い道には、動物愛護に関連したものがあがっていない。その理由はなぜか。支援策の一つとして今後検討してはどうか</p> <p>(3) 「動物遺棄は犯罪」この点について、市民に対する周知はどのように行われているか</p>
-----------------------------	--